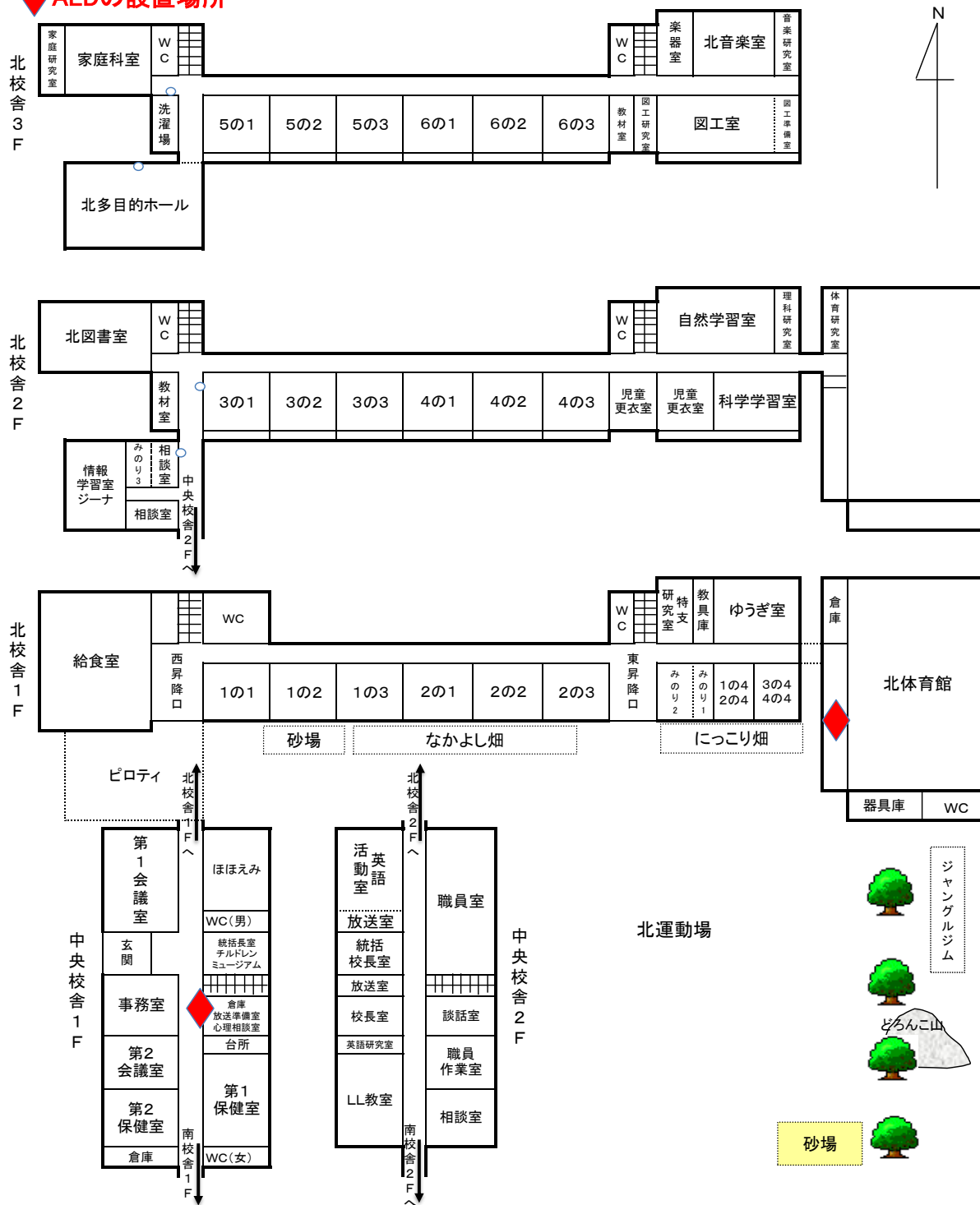
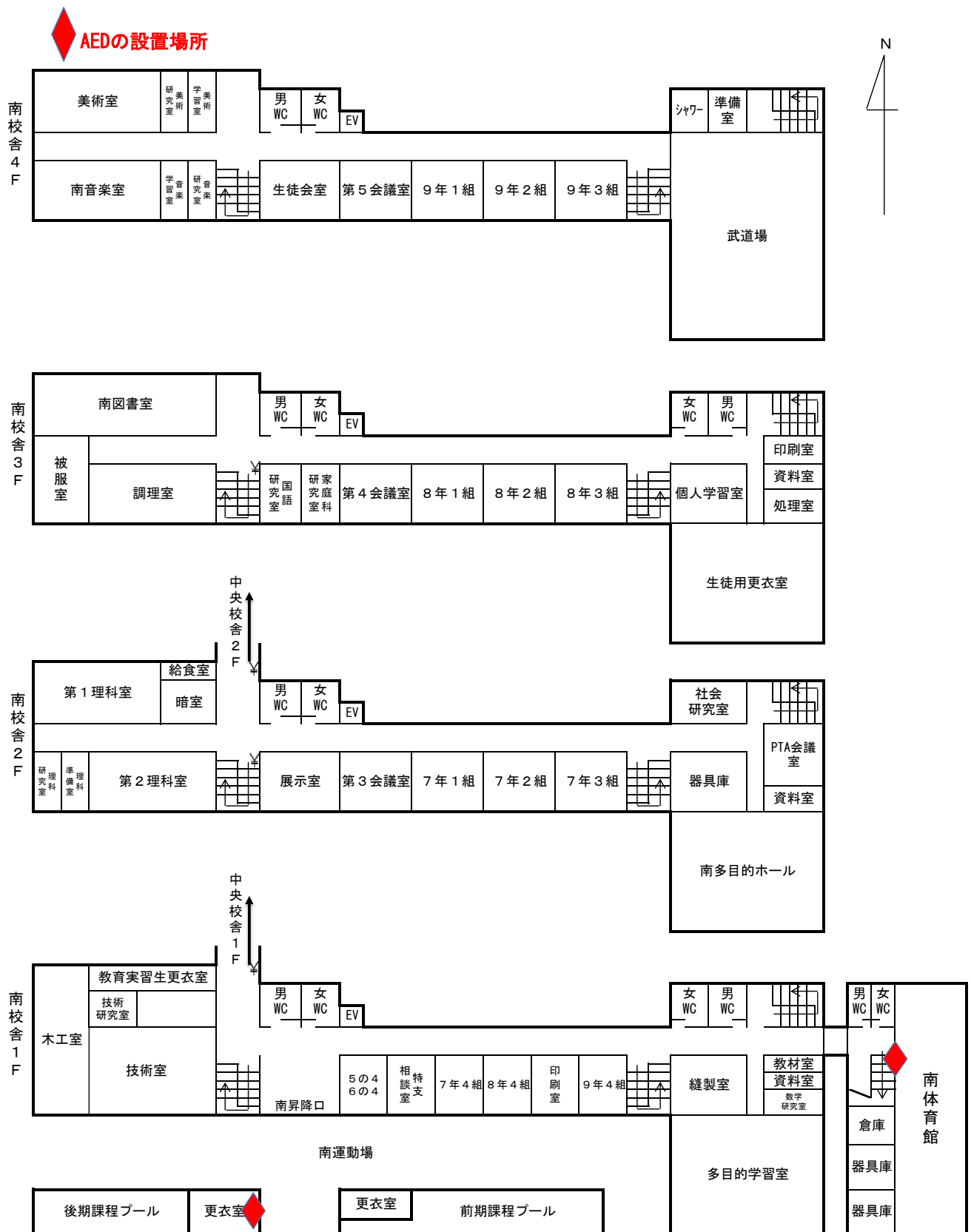


校内平面図（北校舎・中央校舎）

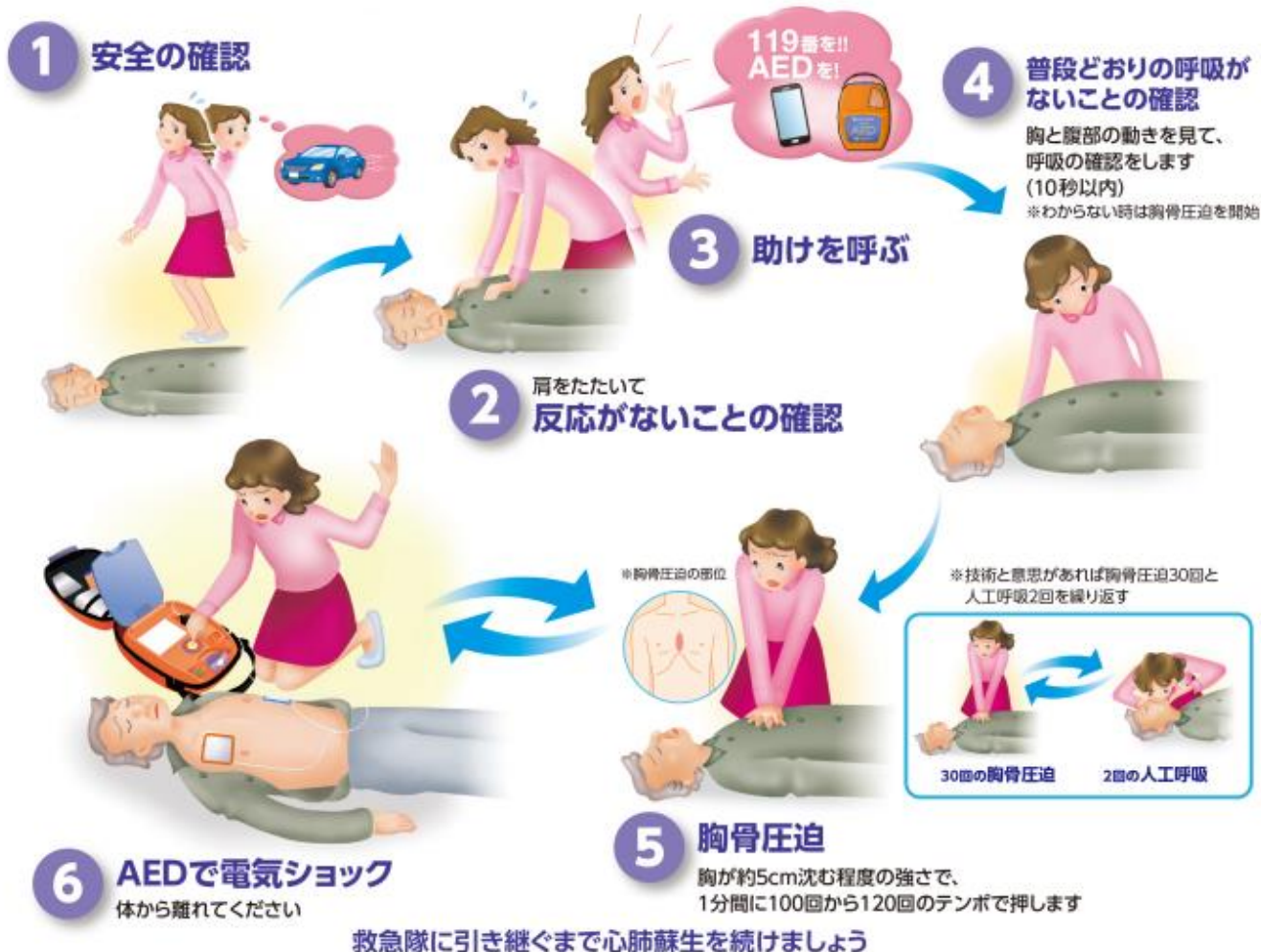
◆ AEDの設置場所



校内平面図（南校舎）



救命の手順 JRC蘇生ガイドライン2020



いつでもAEDが使えるように ～AEDの日常点検～

設置管理タグの確認



使い捨てパッドの使用期限
バッテリーの装着日を確認
してください。

設置管理タグ



ステータスインジケータの確認



使用可



要確認

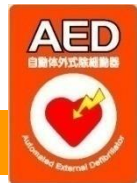
AEDの設置管理タグを
よく見える所に!

忘れないで日常点検!

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも
使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを
日頃から点検する事が重要です。

製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手間を軽減する
独自のサービスをご用意しております。お客様の都合に合わせて、
これらを利用し、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。





こんなときにはAED!!

●反応がない ●呼吸がない ●脈拍なし（熟練救助者のみ）

① ふたを開けると、電源ON！



フタを
開ける



PU PU PU

フタを開けると100回/分の動作音が始まります。



「小学生～大人モードです。
反応が無いこと、呼吸がないことを確認してください。
胸を裸にして、AEDのフタから
四角い袋を取り出してください。
袋を破いて、パッドを取り出してください。
パッドを青いシートからはがして図のように
右胸と左わき腹に貼ってください。」

重要

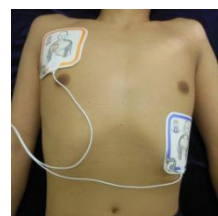
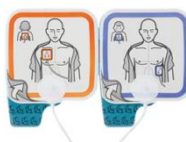
小学生～大人を救助する時⇒小学生～大人モード

未就学を救助する時⇒未就学児モード

未就学児/小学生～大人モード
切換スイッチ



② パッドを体に貼ります



パッドを貼ると、自動的に心電図の解析を開始します。AEDの音声ガイドに従ってください。



「体にさわらないでください。心電図を調べています。体にさわらないでください。」

電気ショックが必要な心電図の場合



「電気ショックが必要です。
充電しています。」

電気ショックが不要ない心電図の場合



「電気ショックは必要ありません。
体にさわっても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。」

③ ショックボタンを押します



「体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。」



「電気ショックを行いました。
体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

人工呼吸の訓練を受けており、
技術と意思があれば胸骨圧迫30回と
人工呼吸2回を交互に2分間行います。



胸骨圧迫



30 : 2



人工呼吸

普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
(電極パッドは貼ったままにしてください。)



救命の手順

1 安全の確認



2 肩をたたいて反応がないことの確認



3 助けを呼ぶ



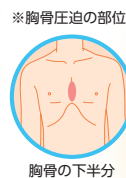
4 普段どおりの呼吸がないことの確認

胸と腹部の動きを見て、呼吸の確認をします(10秒以内)

※わからない時は胸骨圧迫を開始



※技術と意思があれば胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す



※胸骨圧迫の部位
胸骨の下半分

6 AEDで電気ショック

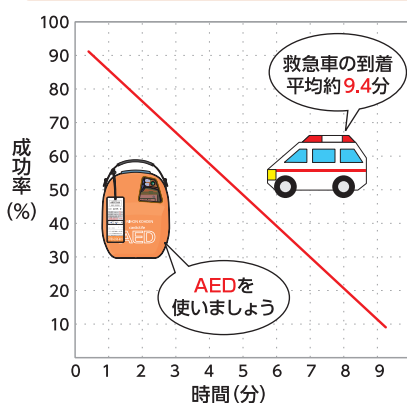
体から離れてください
※オートショックAEDの場合は、自動で電気ショックします

救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

5 胸骨圧迫

胸が約5cm沈む程度の強さで、1分間に100回から120回のテンポで絶え間なく押します

成功の可能性が1分ごとに7~10%低下



AEDの使用方法

簡単 3 ステップ!

AEDの使用条件

- ✓ 反応がない
- ✓ 普段通りの呼吸をしていない
- ✓ 脈がない (医療従事者のみ)

1 フタを開ける

電源スイッチを手前に引いて
フタを開けます
音声ガイドが流れ、パッド装着指示ランプが
点滅します。



AED

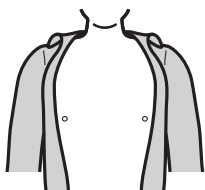
(Automated External Defibrillator)とは?

自動体外式除細動器

- 除細動 : 心室細動を電気ショックで取り除くこと
- 心室細動 : 心臓の筋肉がバラバラに震え、ポンプとして血液を送り出すことができない状態 (心停止) のこと。

2 電極パッドを貼る

音声ガイドに従って落ち着いて行動してください



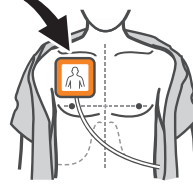
胸部の衣服を
脱がす



電極パッドの
パッケージを開ける



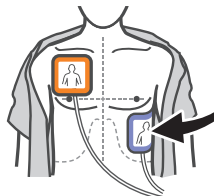
電極パッドを矢印部分から
ゆっくりとねじりにはがす



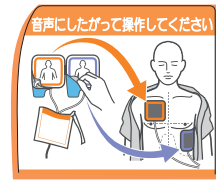
右胸の上部に
電極パッドを貼る



もうひとつの電極パッドを
矢印部分から
ゆっくりとねじりにはがす



左わき腹に
電極パッドを貼る



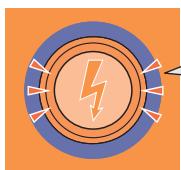
パッド装着指示ランプが
消灯していることを
確認する

電極パッドを貼ると
心電図を調べ始めます
体にさわらずに
次の音声ガイドを待ちます

「体にさわらないでください」「心電図を調べています。体にさわらないでください」と音声ガイドが流れます

3 ショックボタンを押す

電気ショックが必要な心電図と判断すると、エネルギーの充電後ショックボタンが点滅します



体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。

誰も倒れた人の体にさわっていないことを確認してから、
点滅しているショックボタンを押します
(アナウンス後30秒以内)

電気ショックを与えた後、または電気ショックは必要ないとAEDが判断した場合は、
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返し行います (次の心電図解析までの2分間)

AED使用上の注意

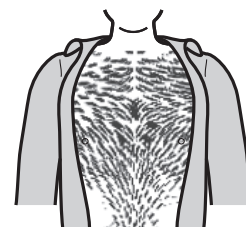
詳細は取扱説明書をご覧ください。

- 電極パッドは素肌にしっかりと貼ってください。
- 胸部に薬剤が貼付されている場合は、薬剤をはがしてください。残った薬剤も拭き取ってください。
- 体が水に濡れている場合は、タオルなどで水分を拭き取ってください。
- 鎖骨の下が膨らんでいる場合は、ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）が入っている可能性があります。膨らみを避けて電極パッドを貼ってください。
(ただし、電極パッドを貼る位置に迷って、救命が遅れることがないようにしてください。)
- ネックレスをしている場合は、外してください。
外せないときは、電極パッドの下に入らないようにネックレスをずらしてください。
- 呼吸を再開しても、再び電気ショックが必要になる可能性があるため、電極パッドは貼ったまま、フタは開けたまま救急隊の到着を待ってください。



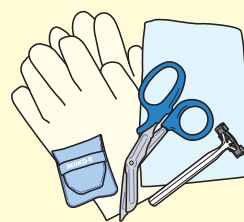
AEDをお使いになる際に、心電図にノイズ（アーチファクト）が混入していると、**正しく解析結果を得られないことがあります。**
できるだけ心電図にノイズを混入させないために、次のような対応をお願いします。

- 胸部が毛深い場合は、電極パッドを胸に強く押しつけて密着させてください。
可能な場合はすみやかに除毛してから電極パッドを貼ってください。
- 携帯電話はAEDからできるだけ（30cm以上）遠ざけてください。
- 近くで電化製品（電動ベッド、電気毛布、エアコン、マイクロ波治療器など）を使用している場合は、電化製品の電源を切ってください。
- 車内で使用する場合は、停車して心電図の解析を行ってください。
- 心電図の解析中、および電気ショックを行う際は体にさわらないでください。



レスキューキット 救命の際があると便利な道具がそろっています

- ニトリルグローブ（手袋）
- カミソリ
- ハサミ
- タオル
- 蘇生用マウスピース（RESACO-R）



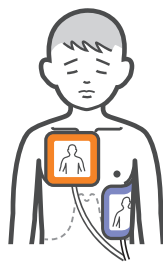
未就学児へ使用する場合

未就学児の場合、未就学児 / 小学生～大人モード切換スイッチを未就学児側に切り替えます。



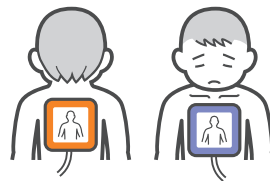
体が大きい場合

右胸と左わき腹へ貼ります



体が小さい場合

電極パッドが重なったり、接触してしまう場合は、胸の真ん中と背中に貼ります

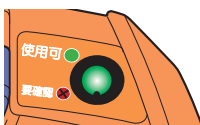


AEDの日常点検

毎日セルフテストを行います。点検結果をステータスインジケータの表示で確認してください。



毎日の点検
ステータスインジケータが
緑色(使用可) であるか確認



使用可

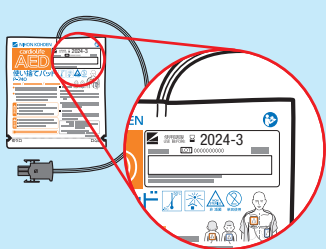


要確認

赤色の場合 →



赤色の場合は電源スイッチを
手前に引いてフタを開け、
診断パネルをチェックします。



**電極パッドには
使用期限があります。**
期限を過ぎた電極パッドは
交換してください。

**バッテリー残量ランプが
赤く点灯している場合**



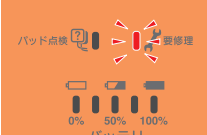
新しいバッテリーに
交換してください。

**パッド点検ランプが
赤く点灯している場合**



電極パッドの接続や
使用期限を
確認してください。

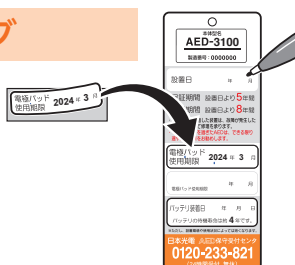
**要修理ランプが
赤く点灯している場合**



故障しています。
当社または販売店に
ご連絡ください。

設置管理タグ

電極パッドおよびバッテリーを交換した場合は、交換したものに付属している新しいシールをタグに貼ってください。



オートショック AEDについて

- ショックボタンはありません。電気ショックが必要と判断した場合には、装置が自動で電気ショックを実施します。
- オートショック AED であることをロゴマークの有無で確認してください。
- 音声ガイドやAEDのイラスト表示を必ず確認してください。
- 「体から離れてください」という音声ガイダンスやイラスト表示があれば、倒れている人に絶対にさわらないでください。
- 可能であれば講習を受講した人がオートショック AEDを操作してください。



AEDをいつでも安全・確実に使用するために

AEDの点検担当者を決めてください。
点検担当者の方は、日常点検の実施・消耗品の管理をしてください。
AEDの設置場所・住所等を変更した場合や、廃棄の際はご連絡ください。



AED LinkageはAEDの管理をサポートするリモート監視システムです。
このシステムを利用することでAEDの状態を集中管理することができます。

早期除細動を可能にするために、施設内のどこにAEDがあるのか明確にしましょう。

AED 設置条件 (AED-3100)

温度: -5℃ ~ +50℃

湿度: 5% ~ 95%

大気圧: 540hPa ~ 1060hPa

※機種により異なるため取扱説明書をご確認ください

日本救急医療財団全国AEDマップ
<https://www.qqzaidanmap.jp/>

この資料は「Non-VOCインキ」「水なし印刷」で印刷しています。

発行

日本光電

日本光電工業株式会社 東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
AED保守受付センター ☎0120-233-821

AEDライフ: 日本光電のAED情報サイト
<https://www.aed-life.com/>

